

(様式第3号)

## 企業・団体名(株式会社フォーレスト) SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得基準があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目												
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			差別等について、就業規則に明記している。 朝礼等において、社長より差別禁止を徹底している。				5.1 5.2 5.5	8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスマント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスマントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスマント等について、就業規則に明記している。 また、朝礼等で社長より差別禁止を徹底している。個別案件があれば、社長が対応している。				5.1 5.2 5.5	8.5 8.8							16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			三六協定、労働関係法規を厳守し、残業の削減を心掛けている。					8.5 8.8								
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		【予定】	現在、外国人の労働者の採用はないが、採用した場合は差別、人権侵害がない体制を構築していく(就業規則には規定済み)。				4.4		8.7 8.8	10.2 10.3						
5	人権・労働				【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本		工場での事故防止のため、定期的に安全ミーティングを行い、関係者全員で危険箇所の洗い出し、事故防止策等を共有している。		3		8						
6					【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本		社内のコミュニケーションを良くして相談しやすい雰囲気を作っている。個別相談があれば社長が対応している。		3								
7					【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本		多様な人材が活躍できる環境を整えており、就業規則にも明記している。 70歳以上の高齢者や女性にもご活躍していただいている。			5.1 5.5	8.5	10.2 10.3					
8					【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本		従業員の希望を聞きながら、セミナーの参加や研修を取り入れている。資格取得を奨励し、その費用の一部又は全部を会社負担している。		4	5.5	8	9					
9					【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本		労働関連法令を厳守し、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応をしている。			5.5	8.5	10.2 10.3					
10				チャレンジ	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			毎年、従業員の健康診断を実施している。希望者には会社負担で人間ドックを受けていただいている。		3		8						
11	環境				【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本		廃棄物処理法を厳守し、分別リサイクル・燃素等マニフェスト管理を適切に行っている。当社の製品を使用し、顧客先の畜産廃棄物等を有用な堆肥へと転換している。						11.6	12.4	14.1		
12					【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		CO2の算出はしていないが、自社の電気・水道・灯油等の使用量を把握している。			7.3				13			
13					【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本		社内の節電や灯油等の使用量削減に努めている。当社の製品を使用し、顧客先の畜産廃棄物等を減容化し、温室効果ガス等の削減を実施している。			7.2 7.3			12.4	13.3			
14					【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本		法令で規制されている有害化学物質を把握し、できる限り使用しないようにしている。当社製品は「有機JAS」の認証を得ており、有機農業に対応している。		3.9	6.3			11.6	12.4			

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目											
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			顧客先の圃場の土壌を複合発酵状態に転換することが当社ビジネスの核であり、多様な複合微生物の生態系の保護のための土づくりに尽力している。						6.6					15	
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			当社のビジネスモデルは、農業・畜産等の一次産業から排出される廃棄物を有用なものへ転換し、その地域へ還元することであり、必然的に3Rに取り組んでいる。										12.5	14.1	
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			製品の製造にあたり、すべて地下水を活用している。工場排水は浄化装置により適正に排出している。また、節水に心掛けている。				6.4 6.6								
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	現在、ISO14001の認証取得はしていないが、将来、会社の発展状況により取得を検討したい。		3.9		6	7				12	13.3	14	15
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			ホームページで環境に配慮した土づくりの情報を発信している。長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、環境情報を開示していく。									12.6			
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			親会社が太陽光発電を行っている。工場内の照明のほとんどをLED化した。					7.2				13			
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			当社のビジネスモデルは、農業・畜産等の一次産業から排出される廃棄物を有用なものへ転換し、その地域へ還元することであり、天然資源の持続的利用を行っている。								12.2	13	14	15	
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			朝礼等で社長より社員へ対し、汚職・収賄の禁止を徹底している。											16	16.5
	【公正な競争】 ・不正競争行為に周知していない方針を掲げ、社員に周知している	基本			朝礼等で社長より社員へ対し、不正競争行為の防止を徹底している。											16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			当社製造過程で使用する原材料は知的財産権の使用許可を得ているものであり、この保護に取り組んでいる。					8.2 8.3	9						
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			就業規則に守秘義務、個人情報保護について明記しており、社員にも徹底している。ウイルス対策ソフトの導入、アクセス制限等により適切に個人情報を管理している。										16		
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		現在、紛争鉱物は取り扱っていない。今後も取り扱わない方針である。											16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			顧客である農家様等とのコミュニケーションを図り、生態系の保護、人権侵害、ハラスメントの防止等の認識を共有している。			5		8	10	12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	今後、パートナーシップ構築宣言の作成を検討したい。		3				8 9	10					17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合は 選択入力	【予定】 の場合は 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13						
製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			当社製品は「有機JAS」の認証を得ており、有機農業のための使用資材に対応している。顧客である農家様等が理解しやすいようなパンフレットを用意している。										3.9			12.4						
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	基本			製造物責任保険に加入している。顧客よりクレーム・要望があった場合は、原因を究明し、是正処置を社員全員で共有している。											9								
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			顧客の圃場の土壤を複合施肥状態に転換することが当社ビジネスの核であり、農業と環境の融合をめざしている。											6								
	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	チャレンジ			当社のビジネスモデルは、農業・畜産等の一次産業から排出される尾棄物を有用なものに転換し、その地域へ還元することであり、一つでも多くの地域循環の実現を目指している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
地域貢献・社会貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	基本			当社製品を活用していただくことで、地域の一次産業の持続的発展の実現を目指している。											4			9	11	12	14	15	17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			地域の自治体等への寄付を毎年行っている。長野県SDGs推進企業登録に参加し、社会課題の解決に取り組んでいます。											4			11		14	15	17	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			経営理念、経営目標を社内で共有している。											8	9						17	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			法令順守・コンプライアンスの厳守を社内で徹底している。																		16	
組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			各部門に責任者を置き、管理をしっかりと行っている。																		16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			取引先、従業員、金融機関等の関係者と情報共有を図り、適切に対応している。																	16	17	
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			工場での事故防止のため、定期的に安全ミーティングを行い、関係者全員で危険箇所の洗い出し、事故防止策等を共有している。会社のリスクを想定し、早めに対応している。																	16		
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいます	チャレンジ			安心・安全かつ環境にやさしい製品の開発に取り組んでいる。長野県SDGs推進企業登録制度に参加し、社会的課題に取り組んでいます。																16			
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			BCPの策定まではしていないが、社員の連絡網、緊急避難場所の社員への徹底を行っている。											9	11	13	13.1			16		
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】	社長は50代で若く、今後検討していく。												8	9						17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
(※職場いきいきアドバансカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進労働者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材C02固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成  
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載  
※1…組織の社会的責任に関する国際規格  
※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定